

Mizuho Daily Market Report

2024/1/4

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	142.42	143.29	+1.30	+1.46
EUR	1.0961	1.0922	▲0.0020	▲0.0183
AUD	0.6758	0.6732	▲0.0029	▲0.0115
SGD	1.3265	1.3287	+0.0031	+0.0088
CNY	7.1471	7.1494	+0.0062	+0.0067
MYR	4.6350	4.6328	+0.0270	+0.0026
THB	34.26	34.34	+0.20	▲0.05
IDR	15482	15480	+10	+50
PHP	55.59	55.58	▲0.08	▲0.02
INR	83.27	83.29	▲0.03	▲0.06
VND	24369	24368	+33	+15

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	3.916%	▲1.3 bp	+12.2 bp
日本(10年)	0.614%	+0.0 bp	+0.3 bp
ユーロ圏(10年)	2.024%	▲4.4 bp	+12.9 bp
オーストラリア(5年)	3.734%	+6.6 bp	+8.2 bp
シンガポール(5年)	2.760%	+1.6 bp	+4.4 bp
中国(5年)	2.409%	▲2.3 bp	+2.3 bp
マレーシア(5年)	3.602%	+1.9 bp	+3.0 bp
タイ(5年)	2.499%	+0.7 bp	+3.2 bp
インドネシア(5年)	6.628%	+15.9 bp	+14.3 bp
フィリピン(5年)	5.905%	+2.4 bp	+14.4 bp
インド(5年)	7.129%	▲1.0 bp	▲4.1 bp
ベトナム(5年)	1.800%	+5.0 bp	▲20.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	37,430.19	▲0.8%	▲0.6%
N225(日本)	33,464.17	+0.0%	▲0.6%
STOXX50(ユーロ圏)	4,448.13	▲1.4%	▲1.8%
ASX(オーストラリア)	4,196.69	▲0.6%	▲0.8%
FTSE(シンガポール)	3,199.44	▲0.9%	+0.9%
SSEC(中国)	2,967.25	+0.2%	+1.8%
KLSE(マレーシア)	71,356.60	▲0.7%	▲0.9%
SETI(タイ)	7,279.09	▲0.6%	+0.5%
JKSE(インドネシア)	1,462.37	+0.6%	+0.6%
PSE(フィリピン)	6,498.88	▲0.8%	+0.6%
SENSEX(インド)	1,429.62	▲0.3%	+1.4%
VNINDEX(ベトナム)	1,144.17	+1.1%	+2.0%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	265.25	+1.0%	▲1.1%
金	2,041.49	▲0.8%	▲1.7%
原油(WTI)	72.70	+3.3%	▲1.9%
銅	8,440.50	+0.0%	▲1.7%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	142.00	-	144.00
EUR/USD	1.0890	-	1.1200
AUD/USD	0.6680	-	0.6920
USD/SGD	1.3150	-	1.3300
USD/CNY	7.1050	-	7.1600
USD/INR	4.6000	-	4.6420
USD/THB	33.60	-	36.20
USD/IDR	15350	-	15680
USD/PHP	55.20	-	56.30
USD/INR	82.95	-	84.10
USD/VND	24,100	-	24,500

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は142円台前半でオープン。引き続き東京休日で市場参加者も少ない中、閑散としたマーケット。オープン直後から小幅に下落すると、軟調なアジア株の動きを受け、上値の重さが意識される展開となった。一方で先物の米金利が底堅く推移していたことがサポートとなり、下値も限定的。方向感なく狭いレンジ内で上下した後、142円台前半で海外時間に渡った。アジア通貨は全般的に軟調推移。アジア株が軟調推移となる中、アジア通貨も総じて売り優勢の展開となった。

海外市場のドル円は142円台後半でNYオープン。NY朝方はバーキン・リッチモンド連銀総裁の「追加利上げの可能性はまだ選択肢にある」との発言に買いで反応し、143円台前半まで上昇。その後は米金利低下が重しとなり、142円台後半まで反落する場面もあったが、続いて発表された米12月ISM製造業景況指数ヘッドラインが予想を上回った事を受け、再び買いが優勢となり、143円台後半まで戻す。NY午後は米12月FOMC議事録が発表され、「金利は想定よりも長く低水準維持する可能性がある」と効派的な見方が示された一方、「政策金利はピークもしくはその近辺」との認識も示された。その後、米金利は低下で反応しドル円も下落。143円台前半でクローズした。

【金利】

金利市場は前日終値比ほぼ横ばい。12月ISM製造業景況指数の数字は、ヘッドラインは予想より強めに出たものの、項目別を総合すると弱い水準での安定化が見られ、市場は債券買いで反応。その後発表されたFOMC議事録では、24年度中の利下げスタートが確認される内容となり、発表後金利はさらに低下した。債券利回りはマイナスで終了した一方、スワップ金利は小幅プラスとなった。

【予想】

本日のドル円は底堅い推移を予想。日銀に対する早期金融政策修正期待が後退していることに加え、昨日公表されたFOMC議事録の内容を受け政策金利について高水準が維持されるとの見方が強まっており、買い優勢の展開を予想する。

【本日の予定】

- (日本) 12月 製造業PMI(確)
- (日本) 岸田首相が年頭記者会見
- (日本) 東証大発表
- (アジア) 12月 シンガポール PMI
- (アジア) 12月 シンガポール 外貨準備高
- (アジア) 12月 中国 Caixin PMI サービス業
- (アジア) 12月 豪 PMI サービス業(確)
- (欧州) 11月 英 住宅証券融資高 / 住宅ローン承認件数
- (欧州) 11月 英 消費者信用残高
- (欧州) 12月 ユーロ圏 サービス業PMI(確)
- (欧州) 12月 独 CPI(速)
- (欧州) 12月 英 1年インフレ率予想
- (欧州) 12月 英 サービス業PMI(確)
- (欧州) 12月 英 外貨準備高変化
- (米国) 12月 ADP雇用統計
- (米国) 12月 サービス業PMI(確)
- (米国) 12月 チャレンジャー人員削減数
- (米国) 新規失業保険申請件数

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権は必ずしも銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。